

# 全国雪対策連絡協議会の活動報告

公益社団法人 雪センター

## 雪対策協議会の活動

「全国雪対策連絡協議会」は、200を超える雪センターの市町村会員からなる組織で、13の道県に雪対策協議会が設置されております。

各道県の協議会は日頃から「会員相互の情報交換・意見交換」を行っております。雪センターとしてはこれらの情報交換・意見交換が有効に行われ、情報の共有と結束の強化が図れるよう、場の設定や機会を設けると共に、適宜「情報の提供」を行っております。また、このような各協議会の通常の活動が一層活発に行われるように、支援金を配布しております。

協議会の通常の活動に加えて、協議会が自主的に個別に行う活動に対しても、支援金を配布してその活動を支援しております。自主的・個別的な活動としては、例えば講師を招いての講演会・研修会、関係者が一堂に会したシンポジウム・意見交換会、対外的広報等、様々なものが考えられます。このような活動により、職員の資質の向上が図られるとともに、会員市町村相互の情報共有が行われ、連携・協力体制を強めることが出来ます。雪対策に対する多くの人の理解を深め、協力を得ることもできます。この他にも色々な活動が考えられると思います。これらの個別の活動に要する経費を、雪センターが支援金として各協議会に配布し、その活動を強力に支援しています。各協議会の積極的な取組みを、期待しております。

## 市町村の意見・要望の集約と要望活動

昨今の雪対策をめぐる状況を考えると、気候変動による局所的・集中的降雪や記録的豪雪の多発・異常少雪の発生、少子高齢化・過疎化による住民の雪に対する対応力・協力体制の弱体化等、深刻な課題が生じております。これらの課題を抱えた市町村が、それぞれ個別に対応していく事は今や不可能になってきており、市町村が力を合わせて、他の機関とも連携・協力していく事が不可欠です。

各道県の雪対策協議会の会員となっている市町村は、日頃から情報交換や意見交換を行っておりますが、各協議会の場において出された意見・要望を実現していくに

は、それらを取りまとめて、関係機関に訴えて行く必要があります。

雪センターは、各道県の協議会を通じて出された意見や要望を集約して要望書を作成し、200を超える市町村からなる全国雪対策連絡協議会として、毎年夏と秋に関係機関に要望活動を行っております。

要望を受けた関係機関は、200を超える市町村の要望であるという認識をもって頂き、要望内容を十分に尊重し、理解したうえで、その実現に尽力して頂いております。

## 夏と秋の要望活動

毎年7月に、全国雪対策連絡協議会の総会が行われておりますが、本年度につきましてはコロナ禍のために、書面での総会となりました。総会後の参加者による要望活動については、本年度は、書面総会で決議された要望書を事務局であるセンターが関係機関に提出した事は既に報告致しました。

秋の要望活動につきましては、例年通り各協議会を通じて意見・要望を集約・集計し、事務局であるセンターが要望書案を作成し、御承認を頂いたものを要望書と致しました。要望活動については、依然としてコロナ禍が収束していないことから、夏と同じように、事務局である雪センターが12月9日に関係機関に提出致しました。提出にあたっては、十分に状況を説明致し、特段の御配慮をお願い致しました。

これらが今後の「予算の拡大」、「新たな施策、制度の創設」にもつながって行く事と思われれます。

## 冬の緊急要望活動

平年の降雪・積雪を大幅に上回っている年には、緊急要望を行っております。今冬における豪雪について、各協議会から全国雪対策連絡協議会として緊急要望を行う事についての御意見が多くあったため、全国雪対策連絡協議会としても要望書を作成し、2月25日事務局である雪センターが関係機関に緊急要望書を提出致しました。趣旨と実情を説明し御理解を得ることができました。

以下、秋と冬の要望活動について報告致します。

# 要望書提出先

令和2年12月9日

## 国土交通省

国土交通大臣  
国土交通副大臣  
国土交通副大臣  
国土交通大臣政務官  
国土交通大臣政務官  
国土交通大臣政務官  
国土交通事務次官  
技 監  
国土交通審議官  
国土交通審議官  
国土交通審議官

赤 羽 一 嘉  
岩 井 茂 樹  
大 西 英 男  
小 林 茂 樹  
朝 日 健 太  
鳩 山 二 郎  
栗 田 卓 也  
山 田 邦 博  
藤 井 直 樹  
野 村 正 史  
岡 西 康 博

## 大臣官房

大臣官房長  
総括審議官  
技術審議官  
技術調査課長

水 嶋 智  
長 橋 久  
東 川 和  
森 戸 直  
義 貴

## 総合政策局

局 長  
次 長  
公共事業企画調整課長  
公共事業企画調整課事業

石 田 優  
大 高 豪 太  
佐 藤 寿 延  
総括調整官 博

公共事業企画調整課施工安全企画室長  
新 田 恭 士

## 国土政策局

局 長  
官房審議官  
官房審議官  
官房審議官  
地方振興課長  
不動産・建設経済局

中 原 淳  
田 邊 靖 夫  
黒 川 淳 一  
五 十 嵐 徹 一  
澁 谷 浩 一

局 長  
建設業課長

青 木 由 行  
鎌 原 宜 文

## 都市局

局 長  
官房技術審議官  
まちづくり推進課長  
街路交通施設課長

榊 真 一  
渡 邊 浩 司  
光 安 達 也  
中 村 健 一

## 水管理・国土保全局

局 長  
次 長  
河川計画課長  
治水課長  
防災課長  
災害対策室長  
下水道部長  
下水道事業課長  
流域管理官  
砂防部長  
砂防計画課長  
保全課長

井 上 智 夫  
塩 見 英 之  
廣 瀬 昌 由  
藤 卷 浩 彦  
内 藤 正 直  
田 中 克 龍  
植 松 二  
松 原 誠  
白 崎 亮  
今 井 一  
三 上 幸  
伊 藤 仁 志

## 道路局

局 長  
次 長  
官房審議官  
総務課長  
企画課長  
国道・技術課長  
環境安全・防災課長  
道路防災対策室長

吉 岡 幹 夫  
宇 野 善 昌  
渡 辺 仁 学  
岸 川 和 巧  
山 本 秀  
前 佛 和  
荒 瀬 美  
信 太 啓 貴

## 住宅局

局 長  
住宅総合整備課長  
安心居住推進課長  
住宅総合整備課住環境整備室長

和 田 信 貴  
山 下 英 和  
藤 田 一 郎  
成 田 潤 也

## 北海道局

局 長  
官房審議官  
官房審議官  
総務課長  
予算課長  
地政課長  
水政課長  
参事官

後 藤 貞 二  
高 橋 季 承  
吾 郷 俊 樹  
小 山 寛  
金 森 敬  
井 上 伸  
柿 崎 美  
石 塚 司

## 観光庁

長 官  
次 長  
審議官  
観光地域振興部長  
観光地域振興課長

蒲 生 篤 実  
高 橋 一 郎  
高 田 陽 介  
村 田 茂 樹  
富 樫 篤 英

68名

## 積雪寒冷特別地域における諸対策の推進に関する要望書

国土の約6割、人口の約2割を占める積雪寒冷地域は、永年にわたる雪対策の推進により、住民生活と社会・経済活動は格段に向上しましたが、昨今の自然条件、社会・経済状況等の著しい変化により、雪対策は以下のような深刻な課題に直面しております。

- ① 気候変動による、記録的な局所的・集中的降雪や、異常豪雪の多発と異常少雪の発生。
- ② 急速な少子・高齢化、過疎化による、住民の自助による雪への対応力の低下。
- ③ 住民の連帯・協働体制の弱体化、住民要望の多様化による、行政依存・行政負担の増大。
- ④ 建設投資の減少、高齢化・人手不足による、雪対策の担い手の経営環境の悪化・弱体化。
- ⑤ 増大していく行政負担に対し、厳しい財政状況にある地方自治体の対応の限界。

全国雪対策連絡協議会の203の市町村は、総力を結集して関係機関と連携・協力して、雪対策に取り組んでおりますが、国の御理解と御支援が不可欠であり、前回に引き続き以下の事項を要望致します。

### 災害への備えによる雪国の安全・安心の確保

事前の防災・減災対策の推進（ダブルネットワークの構築、支援体制充実）  
国土強靱化地域計画に基づく重点的事業の実施

### 道路予算の確保と事業の計画的推進

「積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画」の実施に必要な道路予算の確保  
事業の計画的、強力な推進（除雪・防雪・凍雪害防止事業）

### 豪雪地帯対策特別措置法による対策の推進

基幹的な市町村道の整備の促進      連携・協力体制の整備の促進  
空き家の適切な管理      雪冷熱エネルギーの活用

### 雪に強い地域づくり、街づくりの推進

道路、河川、下水道等が一体となった雪に強い地域づくり、コンパクトな街づくりに対する支援  
公共交通機関の、利便性向上への支援

### 連携・協力による除排雪事業の推進

国・県・市町村、住民、ボランティア等が協力できる、連絡・調整、応援体制の強化  
豪雪時の、広域的に連携した支援体制確保、国土交通省緊急災害対策派遣隊の支援活動の推進  
効果的除排雪作業のための関係機関の協力・協議の推進（雪堆積場、雪捨て場の確保）

### 高齢化社会への対応の促進

高齢者、身体障害者のためのバリアフリーの推進  
除排雪作業の負担軽減のための除排雪体制の整備、技術開発の促進

### 豪雪への支援策の推進

豪雪地域への、地方交付税算定時の雪寒補正の強化  
道路除雪、道路施設の維持・修繕に対する財政支援（臨時特例措置等による財政支援）  
異常豪雪に対する緊急的な安全確保のための施策の推進

### 除排雪への支援の拡大

除排雪作業への財政的支援の拡大（除雪機械整備の補助枠拡大）  
除排雪の省力化、効率化、コスト縮減に対する支援の充実（AI技術、自動運転、新技術の導入）

### 除排雪の担い手の確保と育成

地元建設業者等の存続のための施策の推進（人材確保、オペレータの育成）  
適正な利潤が確保できる施策の推進（実態に配慮した発注、積算・契約・仕様）  
少雪時の経費負担に対する支援の拡大（稼働基準時間、待機経費の保証）  
合併を促す施策の推進

## 雪崩等の災害対策の推進と必要予算の確保

雪崩対策施設や砂防堰堤の整備と危険箇所の周知

災害復旧事業の推進（雪崩・融雪による災害、早期復旧体制確立、被災地への支援）

## 雪対策施設の整備と更新、維持管理への支援

雪対策施設の整備と維持管理費に対する支援（消流雪用水施設、流雪溝、雪対策ダム等）

老朽化した雪対策施設の更新事業への支援

## 克雪住宅の普及促進と空き家対策への支援

雪国の特性に応じた克雪住宅の普及促進、支援（融雪・落雪屋根、命綱固定金具設置）

雪により倒壊した空き家及び倒壊の恐れのある空き家の除去に対する支援

## 雪国の魅力を活かした地域の発展の推進

観光、イベント、特産物等による地域の活性化の取組への支援

冬期間においても人や物の移動が確保できる基盤整備の推進

## 技術開発の推進と情報システムの整備

コスト縮減、省力化、作業の環境改善のための、調査研究、技術開発の推進

利雪、雪害等の調査研究、技術開発の推進

雪に関する気象観測、予警報、情報通信システムの構築整備の促進

令和2年12月9日

## 全国雪対策連絡協議会

|       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 会 長   | 青森県青森市長   | 小野寺晃彦 |
| 副 会 長 | 北海道倶知安町長  | 文字 一志 |
| 副 会 長 | 新潟県長岡市長   | 磯田 達伸 |
| 副 会 長 | 岐阜県高山市長   | 國島 芳明 |
| 理 事   | 北海道滝川市長   | 前田 康吉 |
| 理 事   | 岩手県盛岡市長   | 谷藤 裕明 |
| 理 事   | 秋田県秋田市長   | 穂積 志  |
| 理 事   | 福島県会津若松市長 | 室井 照平 |
| 理 事   | 富山県小矢部市長  | 桜井 森夫 |
| 理 事   | 石川県金沢市長   | 山野 之義 |
| 理 事   | 福井県大野市長   | 石山 志保 |
| 監 事   | 山形県新庄市長   | 山尾 順紀 |
| 監 事   | 長野県飯山市長   | 足立 正則 |

## 今冬の豪雪における雪対策の支援について

今冬、日本列島は度重なる寒波の襲来により、記録的な豪雪に見舞われ、日本海側の地域を中心として、平年の降雪・積雪を大幅に上回る地点が数多く発生しております。

この豪雪により、各地において多くの死傷者が発生するとともに、交通の確保が困難となり、自衛隊の出動を要請した地域もあるなど、雪国の生活は大きな混乱に陥っております。

全国雪対策連絡協議会の会員である市町村(203市町村)におきましても、このような状況に対応すべく豪雪対策本部などを設置し、緊急体制の中で住民生活の安全と地域経済の活動を確保するための除雪・排雪活動等の雪対策に全力を挙げて取り組んでおります。

しかしながら、除雪・排雪活動等のための経費が当初の想定を遙かに超えて増大しており、追加の補正予算を組むなど雪害防止に向け、対応の強化を図ってきておりますが、今後の降雪への対応に加え、雪崩等の災害の発生や諸施設の損傷等についても苦慮されるところであり、除排雪経費のさらなる追加など多額の財政支出が見込まれております。

全国雪対策連絡協議会では、昨年12月9日に、国の機関等に対して「積雪寒冷特別地域の諸対策の推進に関する要望」を実施したところでありますが、現在、このような豪雪に見舞われております積雪寒冷地域の実情をご賢察のうえ、国による市町村への除排雪関連経費に関する



支援として、「市町村道路除雪費補助の臨時特例措置」並びに「特別交付税」などについて特段のご配慮を賜りますとともに、積雪寒冷地域に対します恒久的な雪対策関連経費に対する支援についても、特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和3年2月25日

## 全国雪対策連絡協議会

|       |           |         |
|-------|-----------|---------|
| 会 長   | 青森県青森市長   | 小野寺 晃 彦 |
| 副 会 長 | 北海道倶知安町長  | 文 字 一 志 |
| 副 会 長 | 新潟県長岡市長   | 磯 田 達 伸 |
| 副 会 長 | 岐阜県高山市長   | 國 島 芳 明 |
| 理 事   | 北海道滝川市長   | 前 田 康 吉 |
| 理 事   | 岩手県盛岡市長   | 谷 藤 裕 明 |
| 理 事   | 秋田県秋田市長   | 穂 積 志   |
| 理 事   | 福島県会津若松市長 | 室 井 照 平 |
| 理 事   | 富山県小矢部市長  | 桜 井 森 夫 |
| 理 事   | 石川県金沢市長   | 山 野 之 義 |
| 理 事   | 福井県大野市長   | 石 山 志 保 |
| 監 事   | 山形県新庄市長   | 山 尾 順 紀 |
| 監 事   | 長野県飯山市長   | 足 立 正 則 |